News Release



平成22年9月16日

香川大学大学院地域マネジメント研究科シンポジウム

香川ハリウッド化計画!?「ロケ地から聖地へ!」~映画で地域活性化大作戦!!~

の開催について

香川大学大学院地域マネジメント研究科では、「香川ハリウッド化計画!?『ロケ地から聖地へ!』~映画で地域活性化大作戦!!~」と題したシンポジウムを下記のとおり開催いたします。

本シンポジウムは、「映画」を切り口に地域資源の活用方法を考察するとともに、香川を映画制作の聖地として情報発信し、地域の文化振興および経済活性化へとつなげていくことを目的としております。 地域マネジメント研究科の大学院生によるプレゼンテーションや「UDON」「踊る大捜査線」で有名

な本広克行監督と村上公一プロデューサー、「めおん」の野村精司監督、映画ナビゲーターの帰来雅基氏、

自主映画監督の香西志帆氏とのトークライブなどを予定しております。

記

日 時:平成22年9月25日(土) 13:00~16:00(12:00開場)

場 所:サンポートホール高松 第2小ホール(高松シンボルタワー棟5階)

定 員:400名(事前申込みが必要です 締切9月24日(金))

入場料:無料

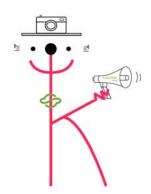
出演者:本広克行 氏(映画監督)、村上公一 氏(映画プロデューサー)、

のむらせいじ 野村精司 氏(ストーリープランナー・演出家)、帰来雅基 氏(映画ナビゲーター)、

コーディネーター:原真志(当研究科准教授)

以上

本件につきましては、大学院生の活動の一環として既に一部報道機関および関係先にお知らせをしております。プレスリリースが後になりました事、お詫び申し上げます。



問い合わせ先

香川大学大学院地域マネジメント研究科 担当:南谷

〒760-8523 高松市幸町 2-1

TEL·FAX: 087-832-1900

E-mail: <u>gsm-office@gsm.kagawa-u.ac.jp</u> ホームページ : http://www.gsm.kagawa-u.ac.jp/



香川ハリウッド化計画!?

ロケ地から聖地へ!

映画で地域活性化大作戦!!>

UDON・踊る大捜査線の 本広克行 監督とのトークライブ

◆日時

9/**25**(土) 13:00~16:00 12:00 開場

◆場所 サンポートホール 高松 第2小ホール 高松シンボルタワー ホール棟5階



- ACCESS
- ●JR高松駅から徒歩3分
- ●ことでん高松築港駅から徒歩5分
- ●高松港から徒歩2分
- 高松自動車道 高松中央ICより国道193号へ 車で約20分

お問い合せ先



香川大学大学院地域マネジメント研究科

[TEL·FAX] 087-832-1900 [E-mail] gsm-office@gsm.kagawa-u.ac.jp

シンポジウム出演者



映画監督

本広 克行氏

香川直 ★ 亀市出身

村上 公一氏

(株)ロボット 映画プロデューサー 代表作品「UDON」

「踊る大捜査線」シリーズ

帰来 雅基氏

映画ナビゲーター FM香川「勝手にシネマニア」 パーソナリティ

水尾 峻輔

香川大学大学院 地域マネジメント研究科1年生 (株) ロボット 映画監督 代表作品 「UDON」 「踊る大捜査線」シリーズ

「曲がれ!スプーン」 「少林少女」

「サマータイムマシン・ブルース」

野村 精司氏

ストーリープランナー・演出家代表作品「めおん」

(第2話 監督&プロデューサー)

香西 志帆 乓

自主映画監督 映像塾(映像/シナリオ)修了生

コーディネーター 原 真志

香川大学大学院

地域マネジメント研究科准教授

参加申込は裏面をご覧ください

シンポジウムの開催にあたって

香川大学大学院地域マネジメント研究科長 関 義雄

香川大学大学院地域マネジメント研究科 (通称香川大学ビジネススクール) は創設されて今年で7年目に入ります。当初は、研究科の広報活動の1つとして学生企画のシンポジウムを開催してきましたが、最近では社会貢献の一環として、現在注目されているテーマを取り上げ、深く掘り下げることで、地域社会がそのテーマに関心を持つことに重点を置いています。

今年のテーマは、「映画で見つける香川の魅力」です。地域には必ず固有の地域 資源がありますが、それはその地域に住んでいる人にとってはあまりにもありふれてい るので気がつかないでいるだけだと言われています。映画は気がついていない地域 資源を映画監督の価値観のフィルターを通すことで気づかせる力を持っています。 本シンポジウムでは著名な映画監督をお招きし、フリートークを通して、香川が持つ地 域資源を明らかにし、さらに若い人が映画製作に関心を持ち、香川県が映画による 情報発信の聖地となり、地域活性化につながっていくことを願っています。

プログラム

12:00~ 受付 開場

13:00~ 開会

[主催者挨拶]

関義雄 香川大学大学院地域マネジメント研究科長

13:10~ トークライブ

「映画の魅力と夢について」

《休憩》

14:30~ 当研究科大学院生によるプレゼンテーション

「映画で香川の魅力発見」

15:00~ パネルディスカッション

「映画で地域活性化大作戦!!」

シンポジウム出演者

本広 克行 氏 (株)ロボット 映画監督

村上 公一 氏 (株)ロボット 映画プロデューサー

野村 精司 氏 ストーリープランナー・演出家

帰来 雅基 氏 映画ナビゲーター

香西 志帆 氏 自主映画監督

水尾 峻輔 香川大学大学院地域マネジメント研究科1年生

コーディネーター

原 真志 香川大学大学院地域マネジメント研究科准教授

16:00 閉会

※内容に一部変更がある場合がございます。



香川大学大学院地域マネジメント研究科(担当:南谷) 〒760-8523 香川県高松市幸町2-1

[TEL·FAX] 087-832-1900

【E-mail】 gsm-office@gsm.kagawa-u.ac.jp 【ホームページ】 http://www.gsm.kagawa-u.ac.jp/

シンポジウム出演者ご経歴

●本広 克行 氏 (株)ロボット 映画監督 香川県丸亀市出身

1998年 株式会社ROBOTに入社

【代表作品】

1996年 「7月7日、晴れ」

1998年 「踊る大捜査線 THE MOVIE」

2003年 「踊る大捜査線 THE MOVIE2 レインボーブリッジを封鎖せよ |

2005年 「交渉人 真下正義」

「サマータイムマシン・ブルース」

2006年 「UDON」

2008年 「少林少女」

2009年 「曲がれ!スプーン」

2010年 「踊る大捜査線 THE MOVIE3 ヤツらを解放せよ!」

●村上 公一 氏 (株)ロボット 映画プロデューサー 岡山県出身

1996年 株式会社ROBOTに入社

【代表作品】

2003年 「踊る大捜査線 THE MOVIE2 レインボーブリッジを封鎖せよ」

2005年 「交渉人 真下正義」

「サマータイムマシン・ブルース」

2006年 「UDON」

2008年 「少林少女」

2009年 「曲がれ!スプーン」

2010年 「踊る大捜査線 THE MOVIE3 ヤツらを解放せよ!」

●野村 精司 氏 ストーリープランナー・演出家 石川県出身 【代表作品】

2010年 「めおん」(第2話 監督&プロデューサー)

●帰来 雅基 氏 映画ナビゲーター 香川県高松市出身 FM香川「勝手にシネマニア」パーソナリティ

1977年 同志社大学商学部卒業後、高松市内の会社に勤務

1995年 FM香川「勝手にシネマニア」パーソナリティ

●香西 志帆 氏 会社員 兼自主映画監督(撮影·脚本·編集) 香川県高松市出身 【映像作品】

「優しくやってきた悪魔」(脚本・撮影)、「白い粉」(脚本・撮影)、

「UDON禁止令」(監督・脚本・撮影・編集)

・ドキュメンタリー…瀬戸内国際芸術祭オープニングムービー「Yobancho Forever」

コーディネーター経歴

●原 真志 香川大学大学院地域マネジメント研究科准教授

1995年 東京大学大学院博士課程単位取得満期退学

1995年 香川大学経済学部 常勤講師

2004年 現職

お申し込み方法:ホームページ (http://www.gsm.kagawa-u.ac.jp) から、または下記に必須※事項を記入して E-mail (gsm-office@gsm.kagawa-u.ac.jp)、FAX(087-832-1900) にてお申し込みください。

◎どなたでもお申し込みできます。◎会場の定員(400名)がございますのでお早めにお申し込みをお願いします。

参加費無料

貴社名·団体名		所属·役職	
※ご住所			
※参加者氏名			
**TEL		FAX	
 ₩E-mail			(今後E-mailでの行事案内を・希望する・希望しない)
出演者への質問			
香川で ロケされた 映画で一番 好きな作品は? *1つ"〇"を つけてください	・「喜びも悲しみも幾年月」(1987再映画化) ・「二十四の瞳」(1988再映画化) ・「釣りバカ日誌1」(1989) ・「青春デンデケデケ」(1992) ・「Dolls」(2002) ・「世界の中心で、愛をさけぶ」(2004) ・「機関車先生」(2004) ・「ロード88 出会い路、四国へ」(2004) ・「阿修羅城の瞳」(2005) ・「サマータイムマシン・ブルース」(2005) ・「春の雪」(2005) ・「県庁の星」(2006) ・「UDON」(2006) ・「椿三十郎」(2007) ・「ほっこまい高松純情シネマ」(2007) ・「ぼくとママの黄色い自転車」(2009) ・「曲がれ!スプーン」(2009) ・「めおん」(2010) ・「きなこ」(2010) ・その他(
その理由は?			